

平成28年度

富山県東部消防組合一般会計
決算審査意見書

富山県東部消防組合監査委員

平成29年 6 月 30 日

富山県東部消防組合
管理者 村椿 晃 様

富山県東部消防組合
監査委員 石 倉 勝 巳

監査委員 川 崎 和 夫

平成28年度富山県東部消防組合一般会計決算審査意見について

地方自治法第233条第2項及び第292条の規定により、審査に付された平成28年度富山県東部消防組合一般会計歳入歳出決算及び証書類その他政令で定める書類について審査したので、その結果について意見を提出します。

平成28年度富山県東部消防組合一般会計決算審査意見

1 審査の対象

(1) 歳入歳出決算書

平成28年度 富山県東部消防組合一般会計歳入歳出決算

(2) 付属書類

平成28年度 富山県東部消防組合一般会計歳入歳出決算事項別明細書

平成28年度 富山県東部消防組合一般会計実質収支に関する調書

平成28年度 富山県東部消防組合一般会計財産に関する調書

2 審査の期日と場所

期 日 平成29年 6 月 30 日

場 所 富山県東部消防組合消防本部 2 階会議室

3 審査の方法

審査は、平成28年度富山県東部消防組合一般会計歳入歳出決算書、同事項別明細書、実質収支に関する調書、財産に関する調書、収支月計表、現金出納簿並びに関係諸帳簿、証書類について照合を行うとともに関係職員の説明を聴取して、計数の正確性、予算執行の適正性、収入支出の合法性及び執行内容の妥当性について審査した。

4 審査の結果

審査に付された歳入歳出決算書及び付属書類等は、いずれも関係法令に準拠して作成され、その計数は関係諸帳簿と符合し正確であり、また、決算内容、予算執行状況についても適正であると認められた。

財産に関する調書と事務局及び各施設で保管する台帳等関係書類とを照合した結果、財産の管理状況は良好であると認められた。

なお、審査結果の概要と意見は、以下のとおりである。

5 決算の概要

平成28年度の一般会計の決算額は、予算総額1,256,334,000円に対し、歳入1,256,942,603円（予算対比100.1%）、歳出1,207,440,969円（予算対比96.1%）であり、差引形式収支額は49,501,634円である。前年度決算額と比較して歳入で105,877,125円の増、歳出で88,506,640円の増となっている。

この結果、歳入歳出差引残額は49,501,634円となり、翌年度へ繰り越すべき財源はなく、実質収支49,501,634円の黒字となった。

なお、当年度実質収支49,501,634円から前年度実質収支32,131,149円を差し引いた当年度の単年度収支は17,370,485円の黒字となっている。

決 算 収 支 状 況

(単位：円)

年 度	会 計	歳 入 A	歳 出 B	差引残額 C(A-B)	翌年度へ 繰越すべ き財源 D	実質収支 E(C-D)	前年度 実質収支 F	単年度 収支 G(E-F)
28	一般	1,256,942,603	1,207,440,969	49,501,634	0	49,501,634	32,131,149	17,370,485
	計	1,256,942,603	1,207,440,969	49,501,634	0	49,501,634	32,131,149	17,370,485
27	一般	1,151,065,478	1,118,934,329	32,131,149	0	32,131,149	41,837,769	△9,706,620
	計	1,151,065,478	1,118,934,329	32,131,149	0	32,131,149	41,837,769	△9,706,620
増 減	一般	105,877,125	88,506,640	17,370,485	0	17,370,485	△9,706,620	27,077,105
	計	105,877,125	88,506,640	17,370,485	0	17,370,485	△9,706,620	27,077,105

なお、平成28年度における主要事業は下記のとおりである。

事業名	事業の内容
緊急消防援助隊中部ブロック合同訓練への参加	平成28年9月23日～24日に東部消防管内を主会場として開催された平成28年度緊急消防援助隊中部ブロック合同訓練に参加し、図上訓練、部隊参集訓練、冠水地区救出訓練、重傷病者対応訓練等を実施した。
特別救助隊救助用資機材の整備	管内人口10万人以上の消防本部への設置が法制化されている特別救助隊の装備資機材を購入した。
救命訓練用シミュレータの整備	救急救命士の2処置拡大に伴い、救急救命士訓練用のシミュレータを購入した。
アナログ無線施設の廃局	電波法等に基づき、アナログ無線局の廃局手続き及び設備の撤去を行った。

6 一般会計

平成28年度の一般会計決算額は、次のとおりである。

歳入 1,256,942,603円（予算対比100.05%）

歳出 1,207,440,969円（予算対比 96.11%）

この差引残額（形式収支）49,501,634円から、翌年度に繰り越すべき財源はなく、実質収支49,501,634円の黒字となっている。

なお、当年度実質収支49,501,634円から前年度実質収支32,131,149円を差し引いた当年度の単年度収支は17,370,485円の黒字となっている。

（1）歳入

歳入決算状況は、次のとおりとなっている。

（単位：円）

年度	予算額	調定額	収入済額	不納 欠損額	収入 未済額	予算額 対 比	調定額 対 比
28年度	1,256,334,000	1,256,942,603	1,256,942,603	0	0	100.1%	100.0%
27年度	1,150,325,000	1,151,065,478	1,151,065,478	0	0	100.1%	100.0%

① 収入状況

予算額に対する収入割合は100.1%であり、前年度収入済額と比較して105,877,125円の増となっている。

収入の主なものは、分担金及び負担金で、収入額は1,189,917,851円で全体の94.7%を占めている。以下、使用料及び手数料が1,725,150円で0.1%、県支出金が6,258,846円で0.5%、繰越金が32,131,149円で2.6%、諸収入が1,009,607円で0.1%、組合債が25,900,000円で2.1%となっている。

また、調定額に対する収入割合は100.0%で、収入未済額は0円となっている。

収入状況は、次の表のとおりである。

収 入 状 況

（単位：円）

区 分	予算額	調定額	収 入 済 額				不納 欠損 額	収入 未済 額
			金 額	構成比 (%)	予算対 比(%)	調定対 比(%)		
1. 分担金及び負担金	1,189,918,000	1,189,917,851	1,189,917,851	94.7	100.0	100.0	0	0
2. 使用料及び手数料	1,510,000	1,725,150	1,725,150	0.1	114.2	100.0	0	0
3. 県支出金	6,538,000	6,258,846	6,258,846	0.5	95.7	100.0	0	0
4. 繰越金	32,132,000	32,131,149	32,131,149	2.5	100.0	100.0	0	0

5. 諸収入	236,000	1,009,607	1,009,607	0.1	427.8	100.0	0	0
6. 組合債	26,000,000	25,900,000	25,900,000	2.1	99.6	100.0	0	0
計	1,256,334,000	1,256,942,603	1,256,942,603	100.0	100.1	100.0	0	0

② 財源構成

歳入総額を使用料及び手数料、繰越金、諸収入からなる自主財源と、分担金及び負担金、県支出金からなる依存財源に分類してみると、自主財源は34,865,906円、依存財源は1,222,076,697円となっており、その構成比は、自主財源2.8%、依存財源97.2%となっている。

また、財源構成を一般財源と特定財源に分類してみると、その構成比は、一般財源97.3%、特定財源2.7%となっている。

第1款 分担金及び負担金

(単位：円)

年度	予算額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	予算額対比	調定額対比
28年度	1,189,918,000	1,189,917,851	1,189,917,851	0	0	100.0%	100.0%
27年度	1,100,249,000	1,100,248,231	1,100,248,231	0	0	100.0%	100.0%

収入済額は1,189,917,851円で、歳入総額に占める割合は全体の94.7%となっており、収入済額の内訳は、組合構成市町村からの組合運営費負担金で、魚津市532,200,013円、滑川市365,300,646円、上市町253,504,323円、舟橋村38,912,869円となっている。

第2款 使用料及び手数料

(単位：円)

年度	予算額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	予算額対比	調定額対比
28年度	1,510,000	1,725,150	1,725,150	0	0	114.2%	100.0%
27年度	1,610,000	1,768,050	1,768,050	0	0	109.8%	100.0%

収入済額は1,725,150円で、歳入総額に占める割合は全体の0.1%となっており、収入済額の内訳は、危険物施設設置許可検査手数料等で魚津市分520,600円、滑川市分839,150円、上市町分362,100円、防火管理講習修了証再交付手数料等3,300円となっている。

第3款 県支出金

(単位：円)

年度	予算額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	予算額対比	調定額対比
28年度	6,538,000	6,258,846	6,258,846	0	0	95.7%	100.0%
27年度	6,600,000	6,213,399	6,213,399	0	0	94.1%	100.0%

収入済額は6,258,846円で、歳入総額に占める割合は全体の0.5%となっており、収入済額の内訳は、消防施設整備事業費補助金3,038,000円、県消防学校派遣職員人件費負担金3,220,846円となっている。

第4款 繰越金

(単位：円)

年度	予算額	調定額	収入済額	不納 欠損額	収入 未済額	予算額 対 比	調定額 対 比
28年度	32,132,000	32,131,149	32,131,149	0	0	100.0%	100.0%
27年度	41,838,000	41,837,769	41,837,769	0	0	100.0%	100.0%

収入済額は32,132,149円で、歳入総額に占める割合は全体の2.6%となっており、収入済額の内訳は、平成27年度繰越金となっている。

第5款 諸収入

(単位：円)

年度	予算額	調定額	収入済額	不納 欠損額	収入 未済額	予算 額対比	調定額 対 比
28年度	236,000	1,009,607	1,009,607	0	0	427.8%	100.0%
27年度	28,000	998,029	998,029	0	0	3564.4%	100.0%

収入済額は1,009,607円で、歳入総額に占める割合は全体の0.1%となっており、収入済額の内訳は、災害共済金756,000円、共済事務等手数料118,328円、講習会場提供謝礼60,000円、気象観測謝礼32,200円、その他43,079円となっている。

第6款 組合債

(単位：円)

年度	予算額	調定額	収入済額	不納 欠損額	収入 未済額	予算額 対 比	調定額 対 比
28年度	26,000,000	25,900,000	25,900,000	0	0	99.6%	100.0%
27年度	0	0	0	0	0		

収入済額は25,900,000円で、歳入総額に占める割合は全体の2.1%となっており、収入済額の内訳は、特別救助隊救助用資機材整備事業(緊急防災・減災事業債)25,900,000円となっている。

(2) 歳出

歳出決算状況は、次のとおりとなっている。

(単位：円)

年度	予算額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率
28年度	1,256,334,000	1,207,440,969	0	48,893,031	96.1%
27年度	1,150,325,000	1,118,934,329	0	31,390,671	97.3%

① 支出状況

予算額に対する執行率は96.1%であり、前年度支出済額と比較して88,506,640円の増となっている。

支出の主なものは、組合議会費748,446円、組合運営費165,081円、監査委員費60,094

円、職員給与費895,063,311円、消防本部運営費133,690,831円、魚津署運営費17,963,053円、滑川署運営費14,327,405円、上市署運営費16,039,650円、舟橋分遣所運営費2,731,752円、魚津署施設整備費488,000円、起債償還元金119,716,000円、起債償還利子6,447,346円である。

決算額を性質別(構成比)にみると、義務的経費では、人件費で885,895千円(73.4%)、物件費で174,579千円(14.5%)、維持補修費で1,099千円(0.1%)、扶助費で11,095千円(0.9%)、補助費等で8,122千円(0.7%)、公債費で126,163千円(10.4%)、義務的経費全体では1,206,953千円となり、決算総額の99.96%を占めている。

投資的経費では、普通建設事業費で488千円となり、決算総額の0.04%を占めている。

性質別経費の状況

(単位：千円)

区 分		28年度決算額	構成比
1	人件費	885,895	73.4%
2	物件費	174,579	14.5%
3	維持補修費	1,099	0.1%
4	扶助費	11,095	0.9%
5	補助費等	8,122	0.7%
6	公債費	126,163	10.4%
	うち元金	119,716	9.9%
	うち利子	6,447	0.5%
計		1,206,953	100.0%
7	投資的経費	488	0.0%
	普通建設事業	488	0.0%
	うち単独事業	488	0.0%
歳出合計		1,207,441	100.0%

支出状況は、次の表のとおりである

支 出 状 況

(単位：円)

区 分	予算額	支 出 済 額			翌年度 繰越額	不用額
		金 額	構成比	執行率		
			(%)	(%)		
1. 議会費	913,000	748,446	0.1%	82.0%	0	164,554
2. 総務費	344,000	225,175	0.0%	65.5%	0	118,825
3. 消防費	1,127,813,000	1,080,304,002	89.5%	95.8%	0	47,508,998
4. 公債費	126,264,000	126,163,346	10.4%	99.9%	0	100,674
5. 予備費	1,000,000	0	0.0%	0.0%	0	1,000,000
計	1,256,334,000	1,207,440,969	100.0%	96.1%	0	48,893,031

第 1 款 議会費

(単位：円)

年度	予算額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率
28年度	913,000	748,446	0	164,554	82.0%
27年度	913,000	839,407	0	73,593	91.9%

支出済額は748,446円で、歳出総額に占める割合は全体の0.1%となっている。

不用額は164,554円で、予算額に対する執行率は82.0%となっている。

第 2 款 総務費

(単位：円)

年度	予算額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率
28年度	344,000	225,175	0	118,825	65.5%
27年度	294,000	176,883	0	117,117	60.2%

支出済額は225,175円で、歳出総額に占める割合は全体の0.0%となっており、支出済額の内訳は、組合運営費165,081円、監査委員費60,094円となっている。

不用額は118,825円で、予算額に対する執行率は65.5%となっている。

第3款 消防費

(単位：円)

年度	予算額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率
28年度	1,127,813,000	1,080,304,002	0	47,508,998	95.8%
27年度	1,067,092,000	1,040,264,660	0	26,827,340	97.5%

支出済額は1,080,304,002円で、歳出総額に占める割合は全体の89.5%となっており、支出済額の内訳は、職員給与費895,063,311円、消防本部運営費133,690,831円、魚津署運営費17,963,053円、滑川署運営費14,327,405円、上市署運営費16,039,650円、舟橋分遣所運営費2,731,752円、魚津署施設整備費488,000円となっている。

不用額は47,508,998円で、予算額に対する執行率は95.8%となっている。

第4款 公債費

(単位：円)

年度	予算額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率
28年度	126,264,000	126,163,346	0	100,654	99.9%
27年度	81,026,000	77,653,379	0	3,372,621	95.8%

支出済額は126,163,346円で、歳出総額に占める割合は全体の10.4%となっており、支出済額の内訳は、起債償還元金119,716,000円、起債償還利子6,447,346円である。

不用額は100,654円で、予算額に対する執行率は99.9%となっている。

なお、平成29年3月末現在で、起債償還残高は元金で1,161,506千円となっている。

第5款 予備費

(単位：円)

年度	予算額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率
28年度	1,000,000	0	0	1,000,000	0%
27年度	1,000,000	0	0	1,000,000	0%

平成28年度において予備費の執行は無かったため、不用額1,000,000円、執行率0.0%となっている。

7. 財産管理

(1) 土地について

該当なし

(2) 建物について（平成28年度中の異動なし）

本部通信指令センター	延床面積579.01㎡
上市消防署舟橋分遣所	延床面積273.06㎡
天神山基地局	延床面積 5.85㎡

(3) 物品について（平成28年度中に取得した1件10万円以上）

	区 分	数量
(本部)	救命訓練用シュミレータ	1
	ポータブルワイヤレスアンプ	1
	特別救助隊救助用資機材	1
(魚津署)	消防用ホース	5
	訓練人形（静脈路穿刺専用）	1
	携帯警報器	5
	軽量空気ボンベ	3
(滑川署)	空気呼吸器用軽量ボンベ	3
	消防用ホース	20
(上市署)	空気呼吸器用軽量ボンベ	1
	空気呼吸器	2
(舟橋分遣所)	消防用ホース	10
	ハイテクバックボード	1

8. 意見

(1) 組合債の償還について

平成29年3月末現在で、起債償還残高は元金1,161,506千円、今後利子を含めると1,195,788千円の返済を要する。

大規模な整備については一段落し、平成29年度においては起債の予定はないが、今後とも計画的な発行及び返済に努めていただきたい。

(2) 契約について

物品の購入等の契約の際、各署で発注するものに関してはできるだけ仕様を揃え、共同で発注するなどして経費の削減に努められたい。

9. むすび

以上、平成28年度富山県東部消防組合一般会計歳入歳出決算審査について概要と意見を述べた。

予算の執行に際しては、関係諸帳簿等は正確に処理されており、事務事業の執行については、関係法令に準拠して適切に執行されていた。

組合として5年目を迎えるが、本部、各署においては、なお一層の経費節減を図りつつ、合理的かつ効率的な予算執行となるよう努力されるとともに、地域住民が安心して安全に暮らせるよう、引き続き消防広域化のメリットを十分に生かした火災・救急・救助体制の充実、強化に努められたい。